

こパト  
し携  
で連携  
なBC

# 女性目線でアイデア

## 事業継続計画策定へ連携

建設企業同士が相互に協力し合うネットワーク「なでしこBC連携」は2日、高知県内で「2019年度第1回なでしこBC連携パトロール」



を実施、関係者約80人が参加した。今回の運営を担当した福岡開発によると、高知独特の防災施設・工事現場を視察し、女性目線のアイデアや取り組みで、より実効性の高い事業継続計画が策定できるよう、連携を深めていきたいとしている。

会場となった高知県の町の県立高知青少年の家ではまず、新たに連携に加わった福岡開発と山本建設との協定式が行われた。続いて講演があり、昼食後、高知市内に移動し、福岡開発が施工中の戸原海岸消波工災害復旧外工事現

場をパトロールした。写真。また、種崎地区舟倉津波避難センターを視察したあと、高知青少年の家に戻り、意見交換などを行った。

なでしこパトロールは、井上組（徳島県）が女性活用を図る取り組みの一環としてスタート。その後、賛同企業と災害時の連携を図る組織「なでしこBC連携グループ」を設立したことを契機に、四国地方整備局徳島河川国道事務所とともに取り組んでいる。

メンバーは、徳島県の井上組、福井組、大竹組、亀井組、北岡組、県西土木、倭麵工房、吉岡組、エス・ピー・シー、岡山県の奥野組、天野産業、和歌山県の丸山組、NAO企業で、今回の2社参画により計15社となった。